

2021 年度 第 3 回 10 月阪大本番レベル模試地理 採点基準

**1 単答記述問題**

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

**2 論述問題**

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

**3 共通減点基準**

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。

② 下線の付け忘れは 1 点減点。

③ 指定用語不使用は 1 点減点。

④ 字数オーバーは 1 点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

**4 採点記号について**

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

**5 設問別加点基準**

- 1)           部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。
- 5) [指定語句] は、文中のどこかで使用していれば減点しない。

(I) 配点 50 点

問 1 20 点

Aの周辺は、寒冷で農耕の困難なツンドラ気候区である。そのため先住民は、海獣やトナカイの狩猟を行い、肉を食料、皮を衣服の材料としてきた。また、沿岸部では漁労も重要な生業とされた。Bの周辺は、ラトソルなどのやせた土壌が分布する熱帯雨林気候区である。そのため先住民は、森林を伐採して火を入れ、その灰を肥料とする焼畑農業を営んできた。地力が衰えると農地は放棄され、森林が回復するまで別の場所で焼畑が行われた。

【加点ポイント】

i) Aについて (10 点)

- ① (伝統的生業) 狩猟／遊牧 →2 点
  - ② (①の対象) 海獣／アザラシ／クジラ／トナカイ →2 点
  - ③ (Aの気候) ツンドラ気候 →2 点 (※「寒帯／寒冷である」のみ →1 点)
  - ④・(アザラシなどの) 皮を衣服にする／皮を住居に使用する／油を燃料にする
    - ・農耕が困難／夏のコケ類・地衣類がトナカイの餌になる
    - ・漁労／漁業 も行われる
- } 1つ2点  
4点まで

ii) Bについて (10 点)

- ① (伝統的生業) 焼畑 →2 点
  - ② (Bの気候) 熱帯雨林気候 →2 点 (※「熱帯／高温／多雨である」のみ →1 点)
  - ③・ラトソルなどのやせた土壌が分布する／土地がやせている
    - ・(森林を伐採して) 焼いた灰を肥料とする
    - ・地力が衰えると農地は放棄される／地力が衰えると別の場所に移動する  
／農耕期間と休耕期間を一定サイクルで繰り返す
    - ・近年は森林回復が十分でない／人口増加により焼畑が森林破壊の要因となる
    - ・野生動物の狩猟／食用植物の採集 など行われる
- } 1つ2点  
6点まで

問 2 15 点

氷期に、海面低下で陸続きとなったアジア東部から北アメリカに移住する人々が現れ、彼らが南北アメリカ大陸の先住民となった。大航海時代以降はヨーロッパ人による植民地化が始まり、先住民は土地を奪われた。また、ヨーロッパ人は、奴隷貿易でアフリカ人を南北アメリカ大陸に強制移住させ、先住民の割合は低下していった。

【加点ポイント】

i) 先住民について (7 点)

- ① アジア東部から渡ってきた／アジア人が流入／モンゴロイドが先住民となった →3 点
- ② (①の背景) アジアと北アメリカが陸続きとなった／ベーリング海峡が陸地だった →2 点
- ③ (②の時期) 氷期／氷河期／最終氷期 →2 点

ii) 15 世紀末以降について (8 点)

- ① ヨーロッパ人 (白人) が流入／ヨーロッパによる植民地化  
／アングロアメリカは英仏、ラテンアメリカはスペイン・ポルトガルが植民地化 →2 点
- ② (①により) ・先住民は土地を奪われた／先住民は迫害を受けた  
・先住民は感染症により多くの死者を出した } 1つ2点  
・アフリカから多くの奴隷 (黒人) が連行された } 4点まで
- ③ (②により) 先住民の割合は低下した／先住民は激減した →2 点

問 3 15 点

アンデス高地は空気が薄く、かつ先住民の文明が栄える人口密度の高い地域であったことから、ヨーロッパ人の入植が劇的には進まず、先住民の割合の高い地域となった。気温の日較差が大きいため着脱の容易な肩かけを身につけ、紫外線が強いため帽子を被る人が多いが、それらの被服はアルパカやリヤマの毛から作られる。

【加点ポイント】

i) 先住民が多い理由について (9 点)

- ① (Cの観測地点は) アンデス高地／アンデス地域／南アメリカの高山気候 →3 点  
(※「高地／高山気候」のみ →2 点)
- ② (①の特徴) 空気が薄い／険しい山地である／ヨーロッパ人が入植した港から遠い →2 点
- ③ (②により) ヨーロッパ人の入植が進まなかった  
／ヨーロッパ人にとっては住みよい環境ではなかった →2 点
- ④ (①の特徴) 先住民の文明が栄えていた／先住民の人口密度の高い地域であった  
／元々先住民が多く住んでいた →2 点

ii) 伝統的な衣服について (6 点)

- ① 着脱の容易な上着／肩かけ／ポンチョ／貫頭衣 →2 点
- ② (①の理由) 気温の日較差が大きい／昼間は暑い朝晩は冷え込む →1 点
- ③ 帽子／つばの大きな帽子 →2 点
- ④ (③の理由) 紫外線が強い／日射しが強い →1 点

(II) 配点 50 点

問 1 15 点

モノカルチャー経済とは、少数の一次産品の生産と輸出に依存した経済構造である。その商品の減産や国際価格の下落が国全体の経済不振に直結するため、極めて脆弱な経済構造である。モノカルチャー経済を脱却するために工業化を急いだ国の中には、外国から多額の借金をした国も多く、いくつかは巨額の累積債務を抱えている。

【加点ポイント】

i) モノカルチャー経済について (9 点)

- ① 一次産品の輸出に依存 →3 点 (※「輸出」無し →2 点)  
    ↓  
    (農産品/資源/鉱産物 なども可)
- ② (一次産品は) 国際価格が不安定/価格の下落がある/生産量が不安定/減産も生じる →3 点
- ③ (②により) 脆弱な経済構造である/国の経済が不安定である  
    /商品の国際価格 (生産量) が国全体の経済に影響する →3 点

ii) モノカルチャー経済脱却について (6 点)

- ① (方策として) 工業化/外国企業の誘致 →3 点
- ② (問題点) 外国からの借金/累積債務/累積対外債務 →3 点

問 2 15 点

発展途上国の女性は男性より低い地位に置かれているため、子供を労働力とみなす考え方のもとで、多産や無理な性交渉を強いられている。また、女性は、十分な教育機会を与えられず、出産の数と時期を調節して生活を安定させる家族計画の考え方がなかなか浸透しない。よって出生率が高いままとなり、人口爆発が改善されない。

【加点ポイント】

i) 女性問題について (6 点)

- ・男性より低い地位に置かれている/社会的地位が低い/夫や親に従属している
  - ・十分な教育機会を与えられない/識字率が低い
  - ・就業機会を与えられない/社会進出が進まない
  - ・多産や無理な性交渉を強いられる/結婚年齢が低い
- } 1つ3点  
6点まで

ii) 人口問題について (9 点)

- ① 出生率が高いままである/人口爆発が続く →3 点
  - ② (①の背景) ・子供を労働力とみなす  
    ・社会保障が不十分/老後の面倒は子供がみる  
    ・家族計画が浸透しない
- } 1つ3点  
6点まで

問 3 20 点

アフリカには、旧宗主国が民族分布を無視して引いた植民地の境界線を、そのまま国境とした国が多い。そのため、国内で民族間の政治的主導権争いが生じやすく、しばしば内戦に発展する。ゆえに、サハラ以南の多くの国が、特定の民族の使用言語を公用語とし、対立する民族のそれを公用語から外すことを避け、あえて旧宗主国の言語を公用語にしている。ただし、北アフリカ諸国はアラブ人の割合が高く、アラビア語を公用語にしている。

【加点ポイント】

i) 民族問題の特徴について (8 点)

- ① 国内で民族間の紛争が生じやすい／国内に複数の民族が共存する  
／1つの民族が国境に分断されている →4 点
- ② (①の要因) 旧宗主国が民族分布を無視して国境線を引いた  
／植民地の境界線がそのまま国境となった →4 点  
(※「旧宗主国／列強国／植民地」由来の国境であることが分かれば 加点)

ii) 公用語について (12 点)

- ① 旧宗主国の言語を公用語にする国が多い →3 点
  - ② (①の背景) 特定の民族語を公用語とすることが対立の要因となる  
／対立する民族語を公用語から外すことを避ける  
／旧宗主国の言語は複数の民族で通用する →3 点
  - ③ (その他) ・北アフリカ諸国はアラビア語を公用語とする  
・北アフリカ諸国はアラブ人が多数を占める  
・東アフリカはスワヒリ語も公用語とする国がある  
・スワヒリ語はアラビア語の影響を受けたバントゥー系の言語である
- } 1つ3点  
6点まで